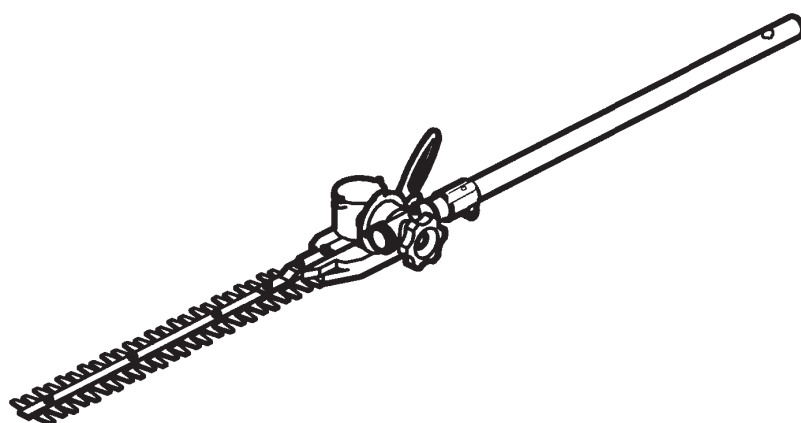


# 取扱説明書

## マルチカッター ヘッジトリマアタッチメント

### BMCA-HTS



#### 目次

1. ▲安全に作業するために … 1	6. 作業の準備 …… 10
2. 各部のなまえと付属品 …… 5	7. 生垣刈作業 …… 11
3. ▲警告ラベルの取扱い …… 6	8. 点検・整備 …… 14
4. 主要諸元 …… 7	9. 長期保管 …… 16
5. 組立 …… 8	10. 故障と対策 …… 16

▲ご使用になる前に必ずお読みください。

まずはじめに ▲ 安全に作業するために をお読みください。

# はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
この取扱説明書は、安全で快適な作業を行っていただくために、製品の正しい取扱方法、簡単な点検および手入れについて説明してあります。

ご使用前によくお読みいただいて充分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮出来るようにこの本書をご活用ください。

また、お読みになったあと必ず大切に保存し、わからないことがあったときには取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などによりお買い上げの製品と本書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。




本製品についてお気付きの点がございましたら、最寄りの販売店にお問い合わせください。

## ■使用目的

本製品は生垣刈を目的とした製品です。この目的範囲外の使用が原因での事故、および分解を行い、それに伴って生じた事故に関して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■注意表示について

この取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱上の注意事項について次のように表示しています。

-  **危険** …もし警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるもの。
-  **警告** …その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるもの。
-  **注意** …その警告に従わなかった場合、けがを負う可能性があるもの。
- 注意** …その警告に従わなかった場合、機械の損傷の可能性のあるもの。

## ■マルチカッターを他人に貸すとき、運転させるとき

事前に運転の仕方を教え、機械に貼ってある▲(安全注意マーク)印の付いている警告ラベルを一枚ずつ説明してください。

マルチカッターと一緒にこの取扱説明書を渡し、よく読んで理解し取扱方法を会得してから作業するように指導してください。とくに禁止事項については念を入れて説明してください。ご家族に運転させるときも同じように説明してください。

## ■国際単位について

●本取扱説明書には、国際単位を表示しています。下記の換算数値をよく読んでご理解の上ご使用ください。

換 算 表

量	新計量法対応表示	換 算	従来の表示	備考
回 転 速 度	[min <sup>-1</sup> ] (毎分)	1[min <sup>-1</sup> ] = 1[rpm]	[rpm]	※

## ※注意事項

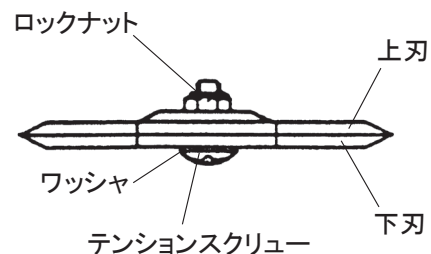
単位時間における回転数については、「回転数」ではなく、「回転速度」と表示します。

# 1 ▲ 安全に作業するために

ヘッジトリマアタッチメントは刈刃を動かして作業する機械です。取扱方法を誤ると重大な事故を招きます。ここに書かれた安全作業を必ず守ってください。

●安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりです。これ以外にも、本文の中で ▲ **危険**、▲ **警告**、▲ **注意**、**注意**、としてその都度取り上げています。

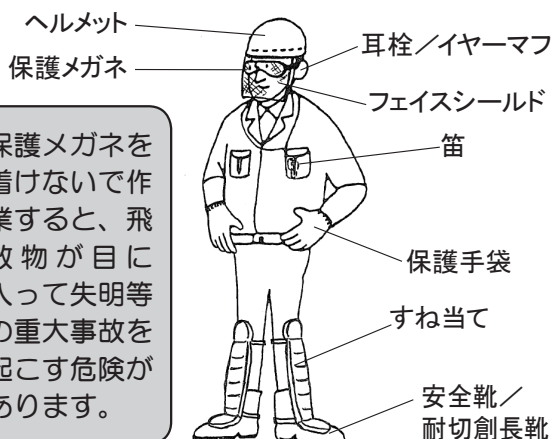
- 混合燃料は金属製の燃料缶に入れて保管、運搬してください。また1ヶ月以上経過した燃料は使用せず、新しい混合燃料を使用してください。
- 刈刃が石等の硬いものに衝突したときは、すぐにエンジンを停止して刈刃を点検し、損傷のある場合は交換してください。また繰り返し衝撃を受けると、刈刃の損傷だけでなく、ギヤケースを破損する危険があります。
- 作業時間とともに、テンションスクリュー、ロックナットは摩耗します。石や砂などの多い場所での作業では摩耗も早まります。テンションスクリュー、ロックナットが摩耗すると、刈刃の交換が困難になります。作業前には必ず刈刃取付用テンションスクリュー、ロックナットの摩耗を点検し、テンションスクリュー、ロックナットがすり減り始めたら、テンションスクリュー、ロックナットを交換してください。



## 【作業前の注意】

▲ **警告** 体内にてペースメーカーを使用している方は、マルチカッターを使用しないでください。ペースメーカーが誤作動をおこす可能性があります。

- 下図のように、飛散物から目を保護するゴーグルタイプの保護メガネ、顔を保護するフェイスシールド、騒音から耳を保護する耳栓やイヤーマフ、落下物から頭を保護するヘルメット、振動から手を保護する保護手袋、飛散物や刈刃から足を保護する滑り止め付の安全靴とすね当てを必ず着用してください。



保護メガネを着けないで作業すると、飛散物が入って失明等の重大事故を起こす危険があります。

- 衣服は長袖・長ズボンで、袖・裾まじりの良い身体にぴったり合ったものを着用してください。だぶついた服や、フリル、飾りヒモ等の付いた服、ネクタイ、ネックレス等は、機械やヤブにからまったり、刈刃へ巻き込んだりする危険があるので着用禁止です。
- 長い髪の毛は、刈刃に巻き込まれないように、肩より上でまとめてください。
- 体調の悪いとき、また酒酔のときには、絶対作業しないでください。
- 本機を子どもに使わせないでください。
- 安全作業にとって効果的ですので、作業開始前に準備体操を行ってください。
- 夜間および風雨のときは、見通しが悪く事故の原因になりますので作業は行わないでください。
- 工具、燃料缶、薬品（虫さされ他）等を携行してください。

- 複数の人で作業する場合、接近すると危険ですから、笛、サイレン等を用意して離れた位置から合図出来るようにしてください。作業中に家人等が、作業者を呼ぶときも同じように笛などで離れた位置から合図することを決めておいてください。

作業中、人が後方から接近することは非常に危険です。作業者がマルチカッターを持って後ろを振り向くと、後ろにいる人を死傷させます。

- 安全に使用するために、刈刃の状態（刈刃の割れ、過熱による変色、カケ等損傷の有無）を必ず点検してください。それら損傷のある刈刃類は危険ですので絶対に使用しないで交換してください。また、刈刃の状態が悪いと疲労の原因になります。
- 刈刃やその他の部品は当社純正部品を使用してください。間に合わせのもの、粗悪なものは事故の原因になります。

粗悪な刈刃を使用すると障害物に当たったとき等に、刃先が折損し作業者に向かって飛んできて、死傷や失明等の重大事故が起きる危険があります。

- 刈刃ではね飛ばしたり巻き付いたりして、傷害事故の原因になりますので、作業現場から粗大ゴミ、小石、空缶、空ビン、鉄クズ、針金、ひも等を取り除いてください。取り除くことができない障害物は、その位置を覚えておいて近づかないようにしてください。
- 作業中は小枝等、異物が飛散します。作業開始前に必ず、周囲の人、建物、自動車等に被害が及ばないことを確認してから作業してください。
- 作業する場所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを作業前に十分確かめてください。

- 混合燃料を給油するときや機械を点検整備するとき、近くで煙草を吸ったり、タキ火をしたりすると、火災等の事故を起こすことがあります。機械の近くでは、火は絶対に使わないでください。



- 混合燃料の補給は、必ずエンジンを停止して、冷えてから行ってください。またこぼしたときは、必ず拭き取ってください。
- 給油後、燃料タンクキャップから燃料もれのないことを確認してください。
- 肩掛バンドに亀裂や劣化がないか始業時点検して

ください。万一の場合に機械から容易に離脱出来るよう、サビツキ、バネの状態、材質の変化、破損の有無を点検してください。

- P10の緊急離脱装置の操作方法を事前に練習してから作業してください。
- 身体を冷やさないような服装で作業してください。

### 【エンジン始動時の注意】

- 排気ガスは人体に有毒ですから、屋内では始動しないでください。
- エンジン始動は、安定した場所で、刈刃を他の物に接触させないで行ってください。始動場所が不安定だったり、刈刃が接地していたりすると、機械が転倒したりはね上がったたりして危険です。
- こぼれた混合燃料への引火を防ぐため、始動は燃料給油場所から3m以上離れた場所で行ってください。



- 近く（15m以内）に人（犬等のペットを含む）がいないことを確認してから機械を始動してください。また、作業に直接関係ない人は作業場所に絶対入れないでください。15m以内に近づいてきたときは、すぐにエンジンを停止し、笛で危険を知らせてください。

万一、自分のすぐ近くに人がいることに気が付いたときは、決して動かないでください。マルチカッターを持ったまま振り向いたりすると、動く刈刃で人を死傷させます。まずエンジンを停止して、刈刃の動きが止まるのを確認してから対応してください。

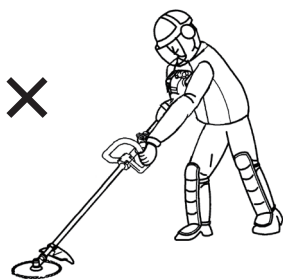
### 【作業中の注意】

- エンジンをアイドル状態にしたとき、刈刃の動きが止まることを確認してください。止まらない場合はアイドル調整してください。また作業中以外はエンジンをアイドル状態にし、刈刃の動きを止めるか、エンジンを停止してください。
- エンジンの回転中は感電するおそれがありますので、プラグキャップや高圧コードにさわらないでください。またエンジンは運転中高温です。マフラ、シリンダにさわらないでください。
- 作業中に混合燃料がもれている場合は、火災になるので直ちにエンジンを停止して最寄りの販売店にて修理をしてください。

- 作業を中断し身体から機械を離すときは、必ずエンジンを停止してください。エンジンを止めないと、マルチカッターが振動で動きだし危険です。エンジン回転速度が上がった場合、刈刃が動き出し傷害事故を起こす可能性があります。また、地面に置いたマルチカッターの燃料タンク底が摩耗し、燃料もれを起こし火災になる危険があります。
- エンジンの回転を上げるときは、ゆっくりとスロットルレバーを操作してください。急激に回転を上げると、マルチカッターが刈刃の動きによって振り回され事故を起こすことがあります。
- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
- 本機の使用用途は生垣刈用です。使用用途以外に使用しないでください
- 身体の前に本機をもって来る作業姿勢は、絶対にやめてください。エンジンが身体に接近するために、ヤケドや排気ガス吸引のおそれがあります。
- 次の場合、必ずエンジンを停止してください。
  1. 刈刃部に巻き付いた、草やひも等を取り除くとき。
  2. 刈刃角度を調整。
  3. 混合燃料補給のとき。
  4. 各部の点検、整備、清掃のとき。
- 機械に異常（異常音、異常振動、不具合）を感じたときは、直ちに作業を中止して機械を修理してください。

#### 【作業終了後の注意】

- エンジンは運転中および停止直後は高温です。マフラ、シリンダにさわらないでください。また、エンジンが冷えるまで可燃物（混合燃料・枯草等）の近くに置かないでください。
- 次回使用するときのため、各部の異常の有無、特に刈刃の変形、損傷、目立ての状態を点検してください。
- 作業終了後は刈刃には刃カバーを付けてください。カバーがないと機械が転倒したときや刈刃に手や足を引っかけたとき、事故を起こすことがあります。



## 振動障害の防止

振動障害を防止するために、本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

### ■ 1日の作業時間について

- ・疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因になります。作業計画にはゆとりをもたせてください。
- ・1日の作業時間は、本機、または取扱説明書に記されている『周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値』により、厚生労働省通達で次のように決められています。

周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値が

- ① 10m/s<sup>2</sup>より小さい場合：1回の連続作業は30分以内、1日の作業時間は2時間以内。
- ② 10m/s<sup>2</sup>より大きい場合：1回の連続作業は30分以内、1日の作業時間は次式より算出した時間以内。

$$T = 200 \div (a \times a) \quad T: 1日の最大作業時間(時間)$$

$$a: 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値(m/s^2)$$

本製品の周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値

名 称	BMC263S + BMCA-HTS
周波数補正振動加速度 実効値の3軸合成値 (m/s <sup>2</sup> )※1	3.4
質 量 (kg) ※2	6.4

※1：『周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値』は、ISO 22867：2004により測定しています。

※2：質量は燃料、肩掛バンド、刃カバーを除いた質量です。

### ■ 使用前の点検・整備について

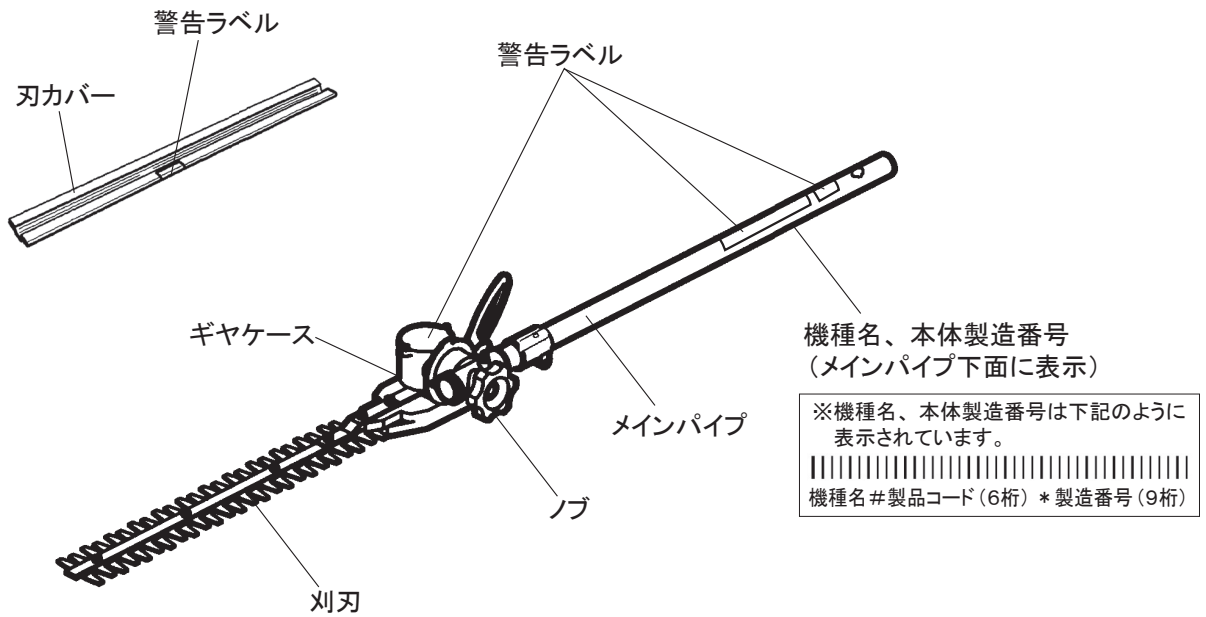
製造時の振動レベルを劣化させないため、作業する前に必ず機体各部の点検・整備を行い、異常がないことを確かめてください。特に、次のような異常がある場合は速やかに使用を中止し、最寄りの販売店に点検・整備をご依頼ください。


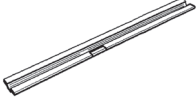

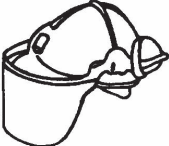

- ・振動が大きくなったなど、異常な振動を感じたとき
- ・防振ゴムの劣化、破損、固定部のゆるみ
- ・ループハンドルの変形、破損
- ・ループハンドルと後グリップの劣化、破損
- ・ギヤケースのヒビ、損傷

また下記に関しても振動レベルの劣化に影響するため、使用前に点検・整備（P11 始業点検 参照）を行ってください。

- ・ループハンドル取付用ネジのゆるみ
- ・刈刃取付用ボルト、ナットのゆるみ
- ・刈刃の割れ、曲がり、ヒビ、摩耗、損傷
- ・刈刃の取付状態、ブレの確認

## 2 各部のなまえと付属品



付 属 品	 取扱説明書 / 1冊 (239245)	 刃カバー / 1個 (407352)	 キャップ / 2個 (215350) <p>( ) 内は部品番号です</p>
オ プ シ ヨ ン ( 別 売 )	 グリス (211337)	 フォレストヘルメット (587526)	 ファンクショナルブーツライト ( ) 内は部品番号です <p>サイズ cm            24.0(409571)            25.0(409572)            25.5(409573)            26.0(409574)            26.5(409575)            27.5(409576)</p>

### 3 ⚠️ 警告ラベルの取扱い

#### ⚠️ 注意

- ・警告ラベル表面の汚れや泥をとり、いつも表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- ・警告ラベルが損傷したときは必ず新しいラベルと交換し、同じ場所に貼ってください。
- ・警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、その部品にも必ず新しい警告ラベルを同じ場所に貼ってください。

※本製品には、下の図に示す位置に次の警告ラベルが貼ってあります。

下記にその内容を記載してありますので、よく読んでその意味を充分理解した上で、表示内容を守って作業してください。また機種名、製造番号は、アフターサービスを受けるときに必要です。ご確認の上、裏表紙にメモしてください。

#### ① 部品番号 (229463)

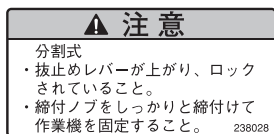


- |   |  |
|---|--|
| <br><ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱いには十分注意すること。</li> </ul>   | <br><ul style="list-style-type: none"> <li>・刈刃には触れないこと。</li> </ul>   |
| <br><b>取扱説明書必読</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ご使用前に必ず取扱説明書を読み、正しく作業すること。</li> </ul>                     | <br><b>火気厳禁</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・混合燃料は引火性が高いので補給の際は必ずエンジンを停止すること。又こぼれた燃料は、必ず拭き取ること。</li> </ul> |
| <br><b>高温注意</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・火傷防止のため、運転中およびエンジン停止後しばらくは、シリンダやマフラ等の高温部にさわらないこと。</li> </ul> | <br><b>高枝刈禁止</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・感電の危険があるので、電線の近くでは作業を行わないこと。</li> </ul>                      |
| <br><b>防護具着用</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・作業中は保護メガネ、耳栓、ヘルメットなど防護具を必ず着用すること。</li> </ul>                | <br><ul style="list-style-type: none"> <li>・作業中は 15 m 以内に人、動物が近付かないようにすること。複数台で作業するときもこの距離は守ること。</li> </ul>              |
| <br><b>排気ガス注意</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・排気ガスは人体に有害です。室内の作業は換気すること。</li> </ul>                      | <br><b>刃カバー</b><br>使わない時は、刃カバーをつけること<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・使わない時は、刃カバーを付けること。</li> </ul>            |

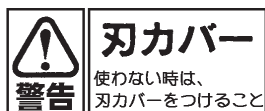
#### ② 部品番号 (407349)



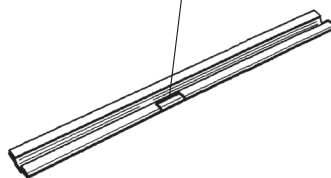
#### ③ 部品番号 (238028)



#### ④ 部品番号 (639369)



#### ④ 部品番号 (639369)

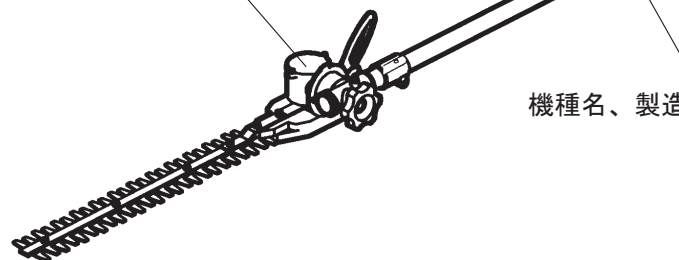


#### ③ 部品番号 (238028)

#### ① 部品番号 (229463)

#### ② 部品番号 (407349)

機種名、製造番号





## 4 主要諸元

名 称	BMC263S + BMCA-HTS	
使 用 用 途	生垣刈	
ハ ン ド ル	ループハンドル	
寸 法	全 長(mm)	2270
	全 幅(mm)	235
	全 高(mm)	235
質 量 (kg)	6.4 <sup>※1</sup>	
減 速 比	1 : 4	
刈 刃 形 状	両刃	
有 効 刈 幅 (mm)	405	
エ ン ジ ン	名 称	EE261
	形 式	空冷 2 サイクル正立ピストンバルブ式
	総 排 気 量 (cm <sup>3</sup> )	26
	使 用 燃 料	潤滑油混合燃料
	使 用 潤 滑 油	市販 2 サイクル専用オイル
	混 合 比	50 (ガソリン) : 1 (市販 2 サイクル専用オイル /FD,FC 級) 25 (ガソリン) : 1 (市販 2 サイクル専用オイル /FB 級)
	燃 料 タ ン ク 容 量 (L)	0.55
	気 化 器	ロータリーバルブ式ダイヤフラム
	点 火 方 式	無接点マグネトー点火
	点 火 プ ラ グ	CHAMPION CJ6Y
	始 動 方 式	リコイル式 (Rスタート)
	停 止 方 式	一次線短絡式 (押しボタン式)

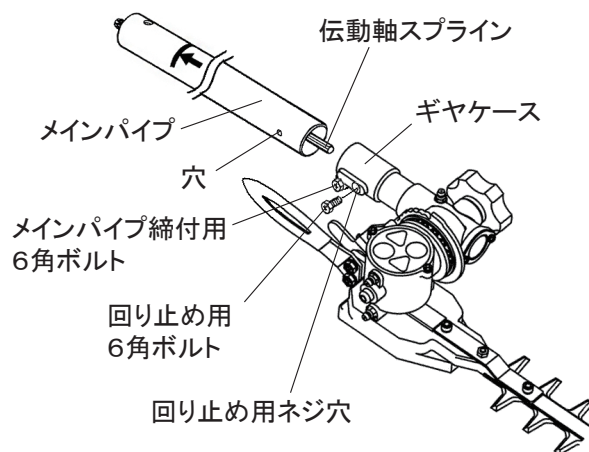
・改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

※1 質量は燃料、肩掛バンド、刃カバーを除いた質量です。

# 5 組立

## (1) ギヤケースの組付

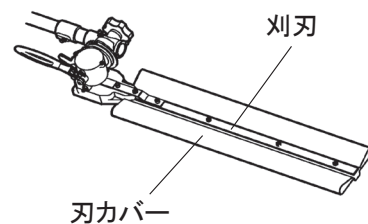
- ① 回り止め用六角ボルトを外し、メインパイプをギヤケースの奥まで差し込んでください。このときメインパイプの矢印マークがパワーユニット側に、反対側がギヤケース側になります。伝動軸とギヤケースのスプラインを合わせるように挿入してください。このとき、伝動軸を回しながら挿入すると、スプラインが合わさりやすくなります。
- ② メインパイプの穴と回り止め用ネジ穴を合わせて、回り止め用六角ボルトを締め付けて固定してください。
- ③ メインパイプ締付用六角ボルトを締め付けて、ギヤケースとメインパイプを確実に固定してください。
- ④ 正しく組み付けられたら、伝動軸を回し、刈刃が動くことを確認してください。このとき、刈刃には絶対に触れないでください。



## (2) 刃カバーの取付け・取外し方

**注意**

- ・刃先でケガをしない・させないように作業中以外は、刈刃に刃カバーを取り付けてください。
- ・刈刃の刃先に注意して作業してください。
- ・刃カバーを取り付ける際は、必ず保護手袋を着けて行ってください。
- ・作業を始める前に、刃カバーを外してから作業をしてください。



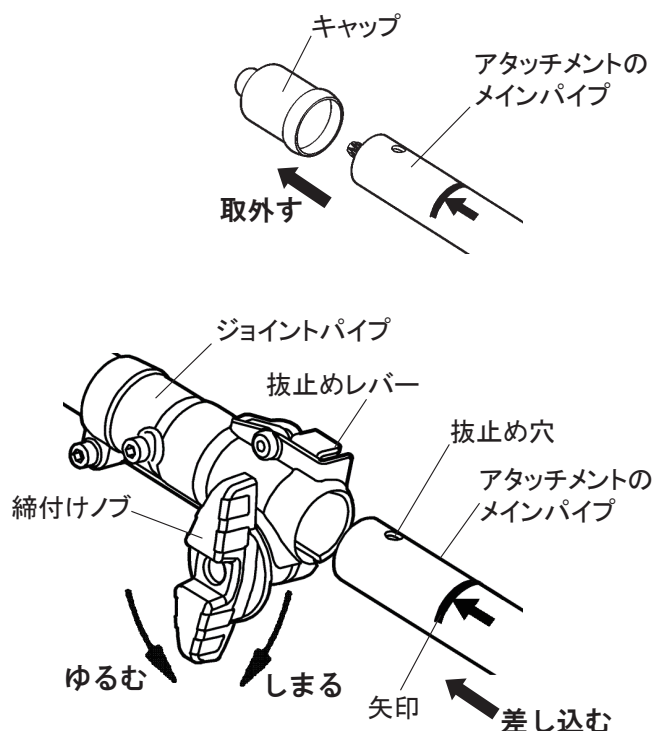
## 【パワーユニットとアタッチメントの組付け・分割】

**注意**

アタッチメントの組付け・分割時は必ずエンジンを停止してください。思いがけず刈刃が動いてケガをするおそれがあります。

### (1) 組付け

- ① アタッチメントのメインパイプ端のキャップを取り外してください。作業終了後、再度分割した場合は必要になるので、無くさないように保管してください。
- ② ジョイントパイプにアタッチメントのメインパイプを差し込めるよう、締付けノブをゆるめてください。
- ③ 図のようにメインパイプの抜止め穴を上に向けて、ジョイントパイプに差し込んでください。メインパイプの矢印がジョイントパイプ端面と合うまで差し込んでください。その際抜止めレバーは自動で一旦下がり、カチッという音とともに元の位置に戻ります。



- ④ 抜止めレバーが下がったままの場合は、レバーの突起がメインパイプの抜止め穴から外れた状態です。メインパイプを左右に回転させることでレバーの突起を穴にはめることができます。



**注意**

抜止めレバーが下がったまま使用しないでください。アタッチメントが外れてケガをするおそれがあります。

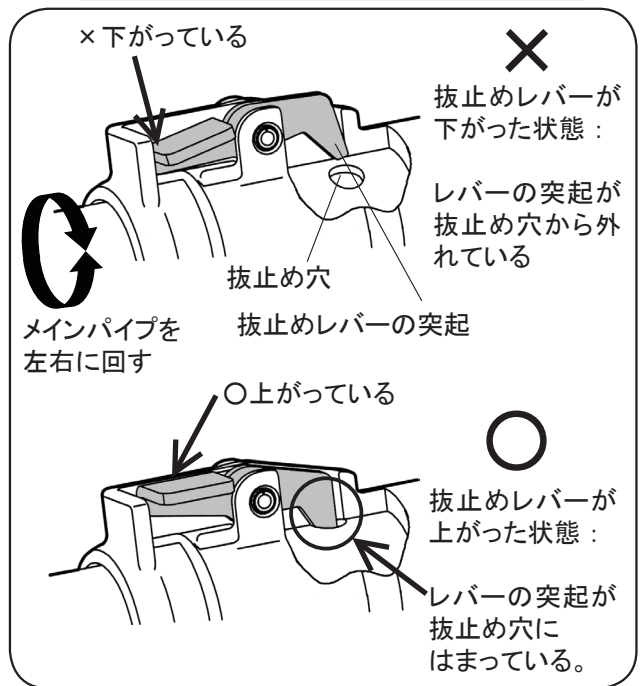
- ⑤ 締め付けノブを締め付け、アタッチメントをしっかりと固定してください。



**注意**

パワーユニットとアタッチメントの組付け後、必ず締め付けノブをしっかりと締め付けてください。締め付けないとアタッチメントが外れてケガをするおそれがあります。

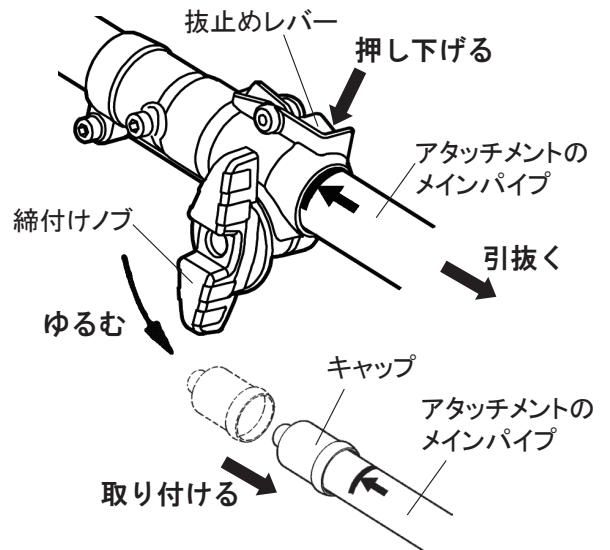
**部分断面図（実際には中は見えません）**



**(2) 分割**

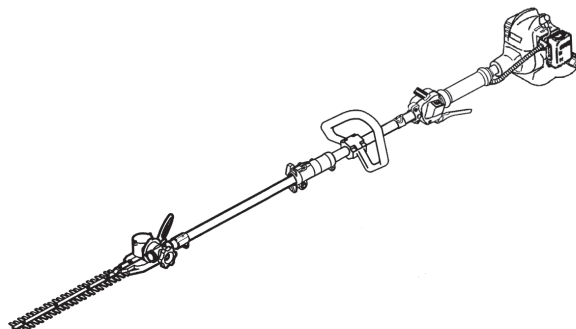
- ① 締め付けノブをゆるめてください。
- ② 図のように抜止めレバーを押し下げながらアタッチメントのメインパイプを引抜いてください。
- ③ 締め付けノブ、ナットの脱落防止のため、締め付けノブを軽く締め付けてください。ナットはノブの反対側にあります。（P16のイラスト参照）
- ④ キャップをアタッチメントのメインパイプ端に取り付けてください。

マルチカッターの組立後、ノブ・ボルトナット等、しっかりと締め付けられているか確認してください。



**(3) 組立完了**

これでマルチカッターの組立は完了です。図のように正しく組み立てられているか、もう一度確認してください。

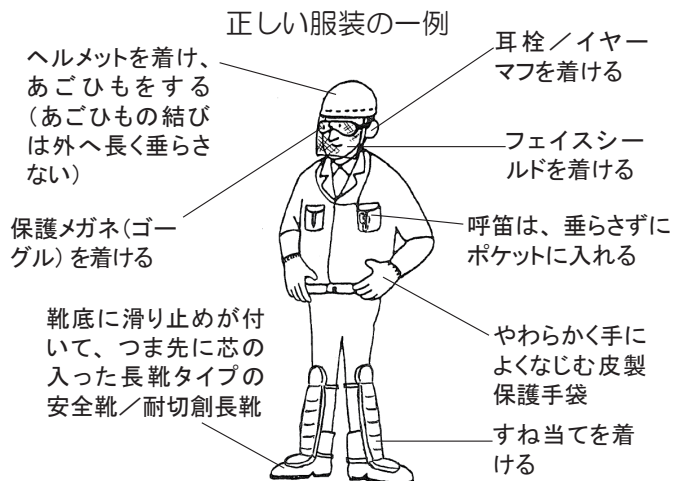


# 6 作業の準備

## (1) 保護具の装着

### ⚠ 注意

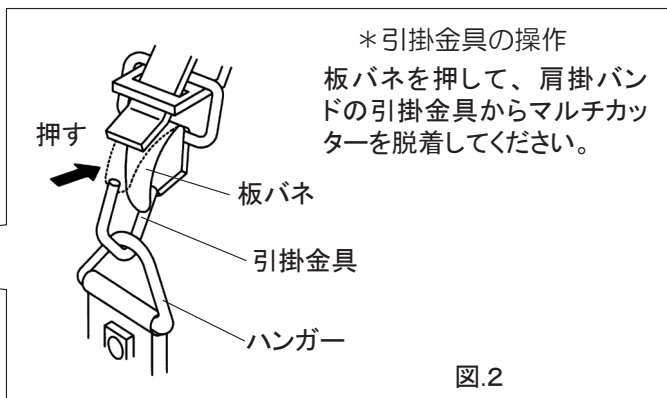
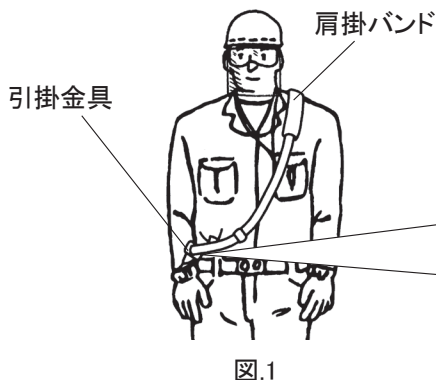
服装は長袖・長ズボン等、身体の露出する衣服は避けてシャツの裾などは必ずズボンの中に入れて、作業中に引っ掛けることのないようにしてください。また、図の「正しい服装の一例」のように必ず保護具を着けてください。



## (2) 肩掛バンドの使い方

### 〈1〉肩掛バンドの装着・使い方

- ① 肩掛バンドは消耗品です。切れ、ほつれ、損傷等がないことを確認し、図.1のように装着してください。
- ② 図.2のように、肩掛バンドの引掛金具をマルチカッターのハンガーに取り付けてください。
- ③ マルチカッターを身体の右側に吊り下げ、ループハンドルを握りやすいように、バンドの長さを調整してください。



### 〈2〉緊急離脱装置の使い方

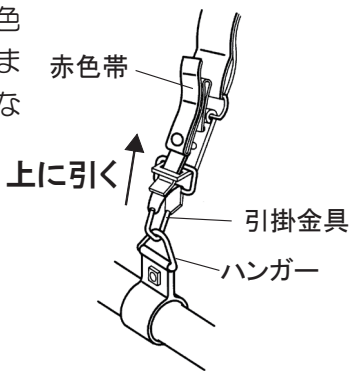
肩掛バンドの緊急離脱装置は図.3のように赤色帯を上引くと、本機が肩掛バンドから離れます。作業の前にエンジンを停止した状態で安全な場所で操作の練習をしてください。

\*緊急離脱装置の組み立て方

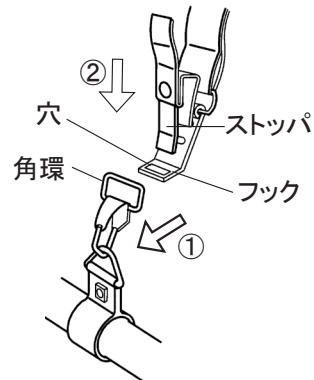
- ① 図.4のように角環にフックを通します。
- ② ストッパをフックの穴に挿入します。

### ⚠ 注意

緊急離脱装置は、緊急時以外使用しないこと。



【緊急離脱装置】



### (3) 始業点検

その日の作業を始める前に行う点検が始業点検です。始業点検は毎回行うことにより、故障を未然に防止することができます。非常に大切な点検ですので必ず実施してください。

#### ●点検内容

点 検 項 目		処 置	参照ページ
刈刃	割れ、曲がり、ヒビ、摩耗、損傷等	交換	15
	上下刃の隙間	調整	15
	乾きの状態	注油	15
	テンションスクリュー、ロックナットの摩耗	最寄りの販売店に修理を依頼する	15
ギヤケース	クランプノブの緩み	増締め	11
	刈刃の動きが悪い	グリス補給、及びテンションスクリュー、ロックナットの調整	14, 15

摩耗、破損した刈刃の使用は、異常振動の発生やメインパイプ、ハンドルへの過度な負担の原因になります。ご使用前に点検をしていただき、必要な場合は表にある処置をしてください。

## 7 生垣刈作業

**⚠ 危険** 電線の近くで作業しないでください。誤って刈刃が電線に接触すると刈刃から電気が伝わり、感電して死傷等の重大事故を起こす危険があります。

**⚠ 警告** 始動は必ず、給油した場所から3m以上離れたところで行ってください。

**⚠ 注意** 作業を始める前に、刃カバーを外してから作業をしてください。

### (1) 作業現場の清掃

生垣刈作業をしようとしている現場に落ちている小石、空缶、空ビン、鉄クズ、針金、ひも、粗大ゴミ等、作業の障害になるものを取り除いてください。これらが飛散して周囲の人、建物、自動車等に被害が及ばないことを確認してから作業してください。

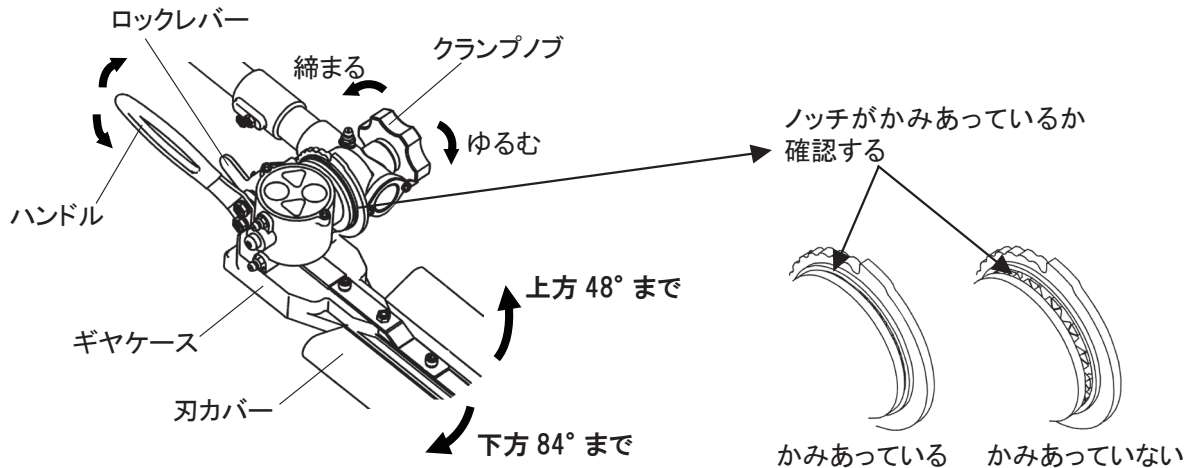
### (2) 実作業

#### 〈1〉刈刃角度の調整

**⚠ 注意**

- ・刈刃角度の調整は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・刈刃角度の調整は、必ずハンドルで行ってください。
- ・刈刃を扱う際は、必ず保護手袋を着けてください。

- ① クランプノブをいっぱいゆるめてください。クランプノブをいっぱいゆるめた状態でないと、刈刃角度の調整はできません。
- ② ハンドルを上下させ、作業に適した角度に調整してください。この際、ロックレバーを操作しないでください。
- ③ **クランプノブを締め付けて確実に固定します。**
- ④ クランプノブの締め付け後、ノッチが確実に噛み合っているか確認してください。噛み合っていない場合は再度クランプノブを緩め、ノッチが噛み合っていることを確認し、クランプノブを締め付けてください。



**\* 格納**

ヘッジトリマアタッチメントは、下記手順で折りたたんで格納する事が可能です。

1. クランプノブをいっぱいゆるめてください。
2. ロックレバーを下方に押しながらハンドルを握り、刈刃を上方に 180° 回転させてください。

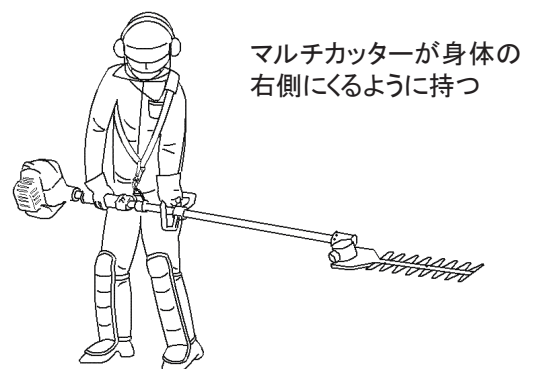
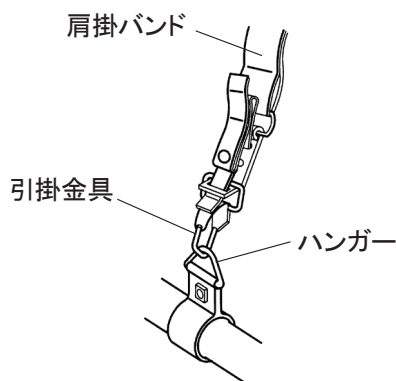
**ロックレバーは折りたたむとき以外には操作しないでください。**

3. 折りたためたらクランプを締め付けて固定してください。
4. クランプノブの締め付け後、ノッチが確実に噛み合っているか確認してください。噛み合っていない場合は再度クランプノブを緩め、ノッチが噛み合っていることを確認し、クランプノブを締め付けてください。

〈2〉 生垣刈作業

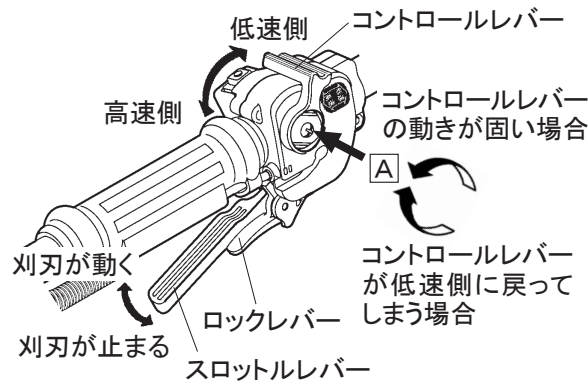
**警告** 始動は必ず、給油した場所から3m以上離れたところで行ってください。

- ① エンジンを始動して、刈刃が停止していることを確認してから肩掛バンドの引掛金具に本機のハンガーを引っ掛けてください。このとき作業機が身体の右側にくるように持ってください。



- ② ループハンドルと後グリップを両手で保持し、ロックレバーを握りながらスロットルレバーを握ってください。コントロールレバーを高速側にゆっくりと移動させると、エンジン回転が徐々に上がり、刈刃が動き始めます。生垣刈の場合、コントロールレバーをいっぱいに引いてエンジン回転速度を全開にしてください。（コントロールレバーが低速側いっぱいの位置のままでは、スロットルレバーを操作しても刈刃は動きません。）回転を上げる場合は急激に上げずに、徐々に回転を上げてください。

ロックレバーを握らないとスロットルレバーを握りこめない構造になっています。スロットルレバーを握る際は必ずロックレバーも一緒に握ってください。



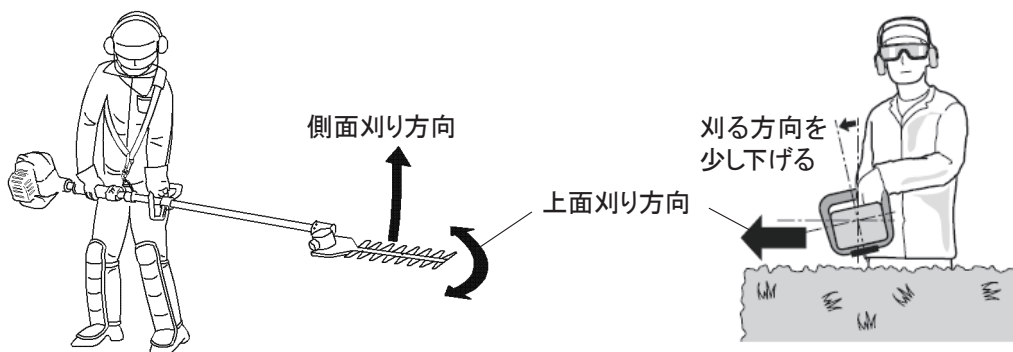
- ・ コントロールレバーを高速側いっぱいに調整した後スロットルレバーを握っても、コントロールレバーが少し低速側に戻る場合があります。これは内部の調整機構によるもので、エンジン回転自体は最高回転速度に保持されます。
- ・ また運転中にコントロールレバーが低速側へ戻ってしまう場合、上図のネジ[A]を矢印の方向へ締め付けてください。締め付け過ぎるとコントロールレバーの動きが固く（シブク）なりますので、少しずつ締め付けてください。

- ③ コントロールレバーを低速側いっぱいに戻す、またはスロットルレバーを手から離すと、エンジン回転はアイドリング状態になります。刈刃はしばらく惰性で動いた後、停止します。刈刃の動きが止まらない場合はアイドリング調整をしてください。  
[BMC263S の取扱説明書 P16 (1) キャブレタの項目参照]

- ④ コントロールレバーをいっぱいに引いてエンジン回転速度を全開にして作業してください。

**注意** エンジン回転が低いまま作業すると、クラッチの異常加熱により故障の原因となります。

- ⑤ 上面を刈る際は、ループハンドルと後グリップを両手でしっかりと持ち、機体を水平に保ち、刈刃を刈込む方向に対しやや傾斜させ、体を軸に円弧を描くように進行してください。側面を刈る際は機体を垂直に保ち、刈刃を体からできるだけ離し、下から上へ刈込んでください。



**警告** 枝などに喰い込んで刈刃が止まった場合は、必ずエンジンを停止して、喰い込んだ枝を取り除いてください。その時、刈刃の状態を点検し、刈刃に亀裂や割れ、損傷がある場合は、絶対に使用しないでください。

**注意** 刈込枝の太さは4.5mm以下にしてください。太い枝を刈ると故障の原因になります。

⑥ 障害物に注意し、刈刃が当たらないようにしてください。

**警告**

- ・作業中は、ループハンドルと後グリップをしっかりと握って作業してください。
- ・はしごの上や不安定な場所での作業は、やめてください。
- ・作業を中断したり、移動する場合は、必ず刃カバーを取付けてください。取付け・取外しの際は、必ず保護手袋を着用してください。

**注意** 作業中、スロットルワイヤを木の枝などに引っ掛けないよう注意してください。スロットルワイヤが引っ張られると、予期しないエンジン回転の上昇が起き危険です。

**警告**

- ・生垣刈作業を中断し身体から作業機を離すときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・エンジンを止めないと、作業機が振動で動きだし危険です。
- ・エンジン回転が上がった場合、刈刃が動き出し傷害事故を起こす可能性があります。
- ・地面に置いた作業機の燃料タンク底が摩耗し、燃料もれを起こし火災になる危険があります。
- ・食い込みから外れたら刈刃を点検して、ひび割れ等の異常がないか調べてください。異常がある場合は交換してください。
- ・非常の場合は、緊急離脱装置の赤色帯を上引き上げてください。作業機が肩掛バンドから外れて落下しますので、十分注意してください。



### (3) 作業後

- ① コントロールレバーを低速側いっぱいに戻してください。
- ② 刈刃が止まるのを確認しエンジンを停止後、保護手袋を着けて、刈刃の掃除、損傷有無の点検をしてください。異常のある刈刃はマルチカッターから外して廃棄処分してください。
- ③ 本機を掃除し、混合燃料を燃料タンクから燃料缶に排出してください。次にプライマポンプを何回か押してキャブレタ内の混合燃料を燃料タンクに戻してください。その後もう一度、燃料タンクの混合燃料を燃料缶に排出してください。

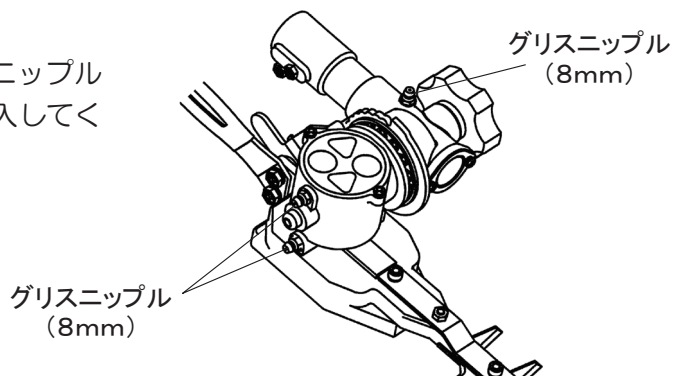
## 8 点検・整備

**注意**

- ・(1)～(5)の点検・整備は必ずエンジンを停止して、エンジンが冷えてから行ってください。
- ・(4)刈刃の点検は、保護手袋を着けて行ってください。
- ・(6)ジョイントパイプの整備は、エンジンを停止してから行ってください。

### (1) ギヤケース

10時間運転毎にグリスガンを使用し、グリスニップル(3箇所)からグリス(リチウム系耐熱用)を注入してください。





## (2) 刈刃の調整

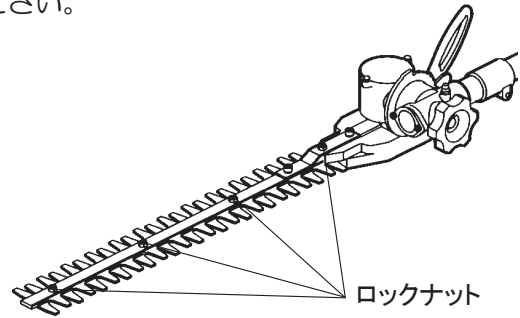
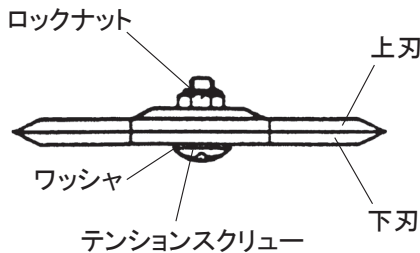
刈刃には、少し隙間があるように調整されていますが、刈刃が摩耗し、隙間が大きくなった場合には刈刃の隙間調整を行ってください。

刈刃の隙間調整は、専門の技術を必要とします。ご自身で調整ができない場合は、最寄りの販売店に調整を依頼してください。

### 注意

すきま調整を行わないと、切れ味が悪くなったり、刈った草が刈刃に挟まって故障の原因になります。

- ① ロックナット（4箇所）をゆるめてください。
- ② テンションスクリューをいったん締め付けた後、 $1/4 \sim 1/2$ 回転ゆるめてください。
- ③ テンションスクリューを動かさずに、ロックナット（4箇所）を締め付けて固定してください。このとき、ワッシャに遊びがあることを確認してください。

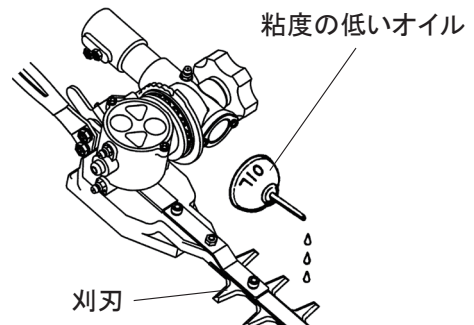


### 注意

- ・テンションスクリューを締め込みすぎると刈刃が動かないことがあります。その場合は、テンションスクリューの戻し量を増やしてください。
- ・刈刃を固定しているロックナットは特殊なナットですので、他のナットを使用しないでください。損傷している場合は、新品と交換してください。
- ・テンションスクリュー、ワッシャが摩耗したり損傷している場合は、新品と交換してください。

## (3) 刈刃の注油

作業を中断したとき等、合間を見て刈刃の合わせ面にオイルを注油してください。オイルは、粘度の低いオイル（市販の2サイクルオイル、4サイクルオイル、マシン油、ミシン油等）を使用してください。



## (4) 刈刃

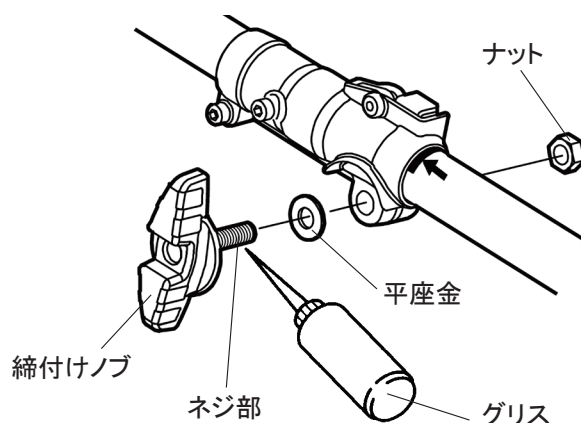
- ① 作業開始前と作業終了後には、必ず刈刃を点検してください。
- ② 摩耗した刈刃は新品（当社純正部品）と交換してください。
- ③ 割れた刈刃は新品（当社純正部品）と交換してください。

## (5) ボルト・ネジ

各部のボルト、ネジのゆるみを点検し、ゆるんでいる場合は増締めしてください。また、摩耗していたら新品と交換してください。

## (6) ジョイントパイプ

締付けノブの動きが渋くなったら図のように分解し、ネジ部にグリスをごく少量塗ってください。その際、平座金、ナット等を無くさないように注意してください。



## 9 長期保管

安全にご使用いただくために年に1回、最寄りの販売店にて定期点検を行ってください。

「点検・整備」の(1)～(6)項の整備を行ってから保管してください。また損傷箇所がある場合は必ず修理してから保管してください。

**⚠ 注意** 刈刃には刃カバーを付けて保管してください。

## 10 故障と対策

### (1) 回転は正常だが、切れ味が悪いとき

故障原因	対策
刈刃が摩耗している。	刈刃を新しいものに取りかえる。 [ 最寄りの販売店に交換を依頼する ]
刈刃の隙間が大きすぎる。	刈刃の隙間調整を行う。 [P15 (2) 刈刃の調整の項目参照]

### (2) 運転中、回転が次第に下がるとき

故障原因	対策
刈刃の隙間が小さすぎる。	刈刃の隙間調整を行う。 [P15 (2) 刈刃の調整の項目参照]

## サービスと保証について

### ■ 警告 保証について

機械の改造は危険ですので決して改造しないでください。改造した場合や、取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合、使用上の誤りがあった場合は、メーカーの保証対象外になりますのでご注意ください。また、保証書をよくお読みください。

### ■ アフターサービスについて

○始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、すぐに適切な整備をしてください。お買い上げの販売店にご連絡ください。

○連絡していただく内容

- 機種名
- 製造番号
- 故障内容 なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったか を詳しくお話しください。

○本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。年に一度は、お買い上げの販売店に点検整備をご依頼ください。

この時の整備は有料となります。

### ■ 補修部品の供給年限について

本製品の補修用部品の供給年限は、本製品の製造打ち切り後8年です。

但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

製品に関するお問合せ等は、まず、ご購入の販売店にご相談ください。  
または、下記の全国共通の無料通話でもお受けいたします。

丸山サポートセンター

無料通話 0120 - 898 - 114

受付時間 9:00 ～ 17:00（土、日、祝日を除く）

製品に関してお問合せいただく際は、正確にご対応させていただくため、  
あらかじめ、下記の事項をご準備ください。

- ① 製品型式名、製造番号
- ② ご購入年月日
- ③ 販売店名



株式会社

丸山製作所

本社 / 東京都千代田区内神田 3-4-15 TEL (03)3252-2281（営・代表）〒 101-0047

この取扱説明書の部品番号は 239245

P/N. 239245-00 1603 IN